

MICE人材育成事業への注力や 業界認知度アップなどを目標に掲げる

2010年度日本PCO協会（JAPCO）年次総会

7月2日、東京霞ヶ関の日本コンベンションサービス(株)内の会議室で「2010年度（平成22年度）日本PCO協会年次総会」が開催された。

開催に先立ち、同協会設立メンバーで前代表幹事の近浪廣氏（日本コンベンションサービス(株)会長）が昨年10月7日に死去した後の初めての総会であることから、副代表幹事の郷農彬子氏の呼びかけで参加者全員が1分間の黙祷を捧げた。

総会では、はじめに代表幹事の近浪弘武氏が「今年はJapan MICE Yearの年。まさにわれわれの業界を国が後押ししてくれる。この業界をますます発展させる年にしましょう」とあいさつ。2009年度の事業報告、また2010年度の事業計画・収支予算案が議論された。特に「観光庁の「MICEアクションプラン」に則り「MICE業界のプロ」を創出するために人材育成事業と「Japan MICE Year」を内外に宣伝広報する活動を推進する。MICE業界の「創意」を創出し、地位・認知度のアップと結束力の強化に貢献する」との目標が掲げられ、全会一致で承認された。

2010年度の事業計画として具体的には、協力事業として①業界団体とのセミナーや行事等の共同企画や参加を活発化させる、②MICEの認知度向上に貢献する、③「IME2010」へ後援名義付与ならびに出展予定、などを行ない日本MICE推進をサポートするとした。また活動計画として、教育・研修活動では「JAPCOサマーセミナー」（8月6日）を開催するほか、下半期にも1回の教育・研修会の開催などを予定。広報宣伝活動では「Japan MICE Year記念シンポジウム」ミニトレードショーでのPRなどを行なう。組織増強に関する活動では①MICE関連団体との情報交換や共同事業実施に関する活動（JCCB産業部会への協力など）、②会員拡大（入会金0円の続行）――など



に注力していくことを決めた。

総会に引き続き、政策研究大学院大学教授で著作権問題については日本トップの権威と称される岡本薫氏を講師に迎え、「通訳者の著作権について」のテーマで約1時間30分にわたって年次総会特別セミナーが開催された。氏は、新たなメディアの出現により難問に直面している著作権の世界を基本から解説するとともに、イベントや国際会議での講演者（スピーカー）の講話の扱い方、また使用される映像や音声などの情報の扱い方、通訳者の著作権の扱い方などで著作権法に抵触するおそれのあるものなどを具体例を交えて詳細に解説した。

なお、セミナー終了後には、参加者懇親のための意見交換会が行なわれた。